



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日
東・名

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所
コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 秀行
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 栢森 啓 (TEL) 052-581-7111
四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	38,931	△12.8	1,546	△63.4	1,656	△61.6	632	△77.0
27年3月期第3四半期	44,657	△5.4	4,223	△34.5	4,315	△34.1	2,747	△30.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 644百万円(△76.9%) 27年3月期第3四半期 2,787百万円(△29.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	42.81	—
27年3月期第3四半期	185.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	52,360	31,747	60.6
27年3月期	53,528	32,138	60.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 31,747百万円 27年3月期 32,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	60.00	70.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	40.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△16.7	△1,500	—	△1,400	—	△1,600	—	△108.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	14,783,900株	27年3月期	14,783,900株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	628株	27年3月期	628株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	14,783,272株	27年3月期3Q	14,783,279株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等により、企業収益や雇用情勢の改善が継続する一方で、中国をはじめとする新興国の減速等により、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、パチンコ遊技機及びパチスロ遊技機の自主規制等の影響により、顧客であるパチンコホールでは、既存店舗の投資需要の減少など、継続的な影響が懸念される状況となっております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、「BIGMO PREMIUM」を中心とした情報公開機器及び、CRユニット「VEGASIA」での新機能の活用提案を推進いたしました。

制御システム事業におきましては、自主規制に伴う仕様変更に対応すべく、開発体制の強化を実施するとともに、遊技機の稼働貢献をテーマとした企画提案力の強化に取り組みました。また、10月にパチスロ遊技機「百花繚乱サムライガールズ」をリリースし、好調な稼働が継続されたことに対して高い評価をいただきました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高389億31百万円（前年同期比12.8%減）、営業利益15億46百万円（同63.4%減）、経常利益16億56百万円（同61.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億32百万円（同77.0%減）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、CRユニット「VEGASIA」では、新店での導入は昨年同様で推移しましたが、既存店での入れ替え需要が減少したため、今期計画台数は上回りましたが、前年同期に対しては下回る結果となりました。

また、「BIGMO PREMIUM」を中心とした情報公開機器においても、既存店の入れ替え需要の減少により、今期計画台数及び前年同期を下回る結果となりました。

費用面におきましては、次世代製品開発への積極投資による研究開発費が大幅に増加いたしました。

この結果、当事業の売上高は278億82百万円（前年同期比10.9%減）、セグメント利益は34億84百万円（同34.8%減）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、表示ユニットの販売台数は、市場環境の悪化の影響で前年同期を下回りましたが、パチンコ関連部品の販売は複数機種に採用されたことで好調に推移いたしました。

パチスロ遊技機において、販売台数の実績が5,100台となり、当初計画より下回ったことに伴い、調達済み専用部材等にて8億76百万円の評価替えを行いました。

この結果、当事業の売上高は110億76百万円（前年同期比17.0%減）、セグメント損失は6億49百万円（前年同期はセグメント利益1億47百万円）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ売上債権が増加し、また翌連結会計年度以降に販売予定のパチスロ遊技機における原材料及び春日井事業所の拡充における有形固定資産が増加しましたが、仕入債務及び未払金の決済や配当金等の支払による現金及び預金が大きく減少したことや、情報システム事業における製品の減少などにより、前連結会計年度末に比べ11億67百万円減少の523億60百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、資金調達として短期借入金が増加しましたが、仕入債務の減少や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ7億76百万円減少の206億12百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益より配当金支払が上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ3億90百万円減少の317億47百万円となりました。

以上により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント上昇の60.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の業績予想につきましては、平成27年10月26日発表の業績予想を変更しております。詳細につきましては、平成28年2月8日に発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成27年6月26日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,115,149	8,556,108
受取手形及び売掛金	12,146,855	14,801,804
商品及び製品	7,342,272	5,491,738
仕掛品	84,500	11,025
原材料及び貯蔵品	2,412,949	4,694,230
繰延税金資産	30,998	637,871
その他	811,194	1,393,046
貸倒引当金	△8,188	△9,406
流動資産合計	35,935,731	35,576,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,804,376	4,619,215
土地	4,397,053	4,397,053
その他(純額)	1,828,962	1,322,196
有形固定資産合計	10,030,392	10,338,465
無形固定資産		
ソフトウェア	2,126,917	2,113,653
その他	33,312	32,517
無形固定資産合計	2,160,230	2,146,170
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,596,713	1,408,561
投資不動産(純額)	961,691	949,298
その他	2,274,928	2,605,885
貸倒引当金	△431,667	△664,099
投資その他の資産合計	5,401,665	4,299,646
固定資産合計	17,592,289	16,784,282
資産合計	53,528,020	52,360,700

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,390,364	10,495,043
1年内返済予定の長期借入金	400,266	150,366
未払法人税等	549,263	48,987
役員賞与引当金	114,693	63,060
短期借入金	—	5,500,000
工事損失引当金	223,860	25,226
株主優待引当金	—	24,374
その他	4,795,353	3,380,603
流動負債合計	20,473,801	19,687,660
固定負債		
役員退職慰労引当金	400,103	421,695
退職給付に係る負債	405,109	380,589
その他	110,487	122,870
固定負債合計	915,700	925,155
負債合計	21,389,501	20,612,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	30,918,892	30,516,861
自己株式	△1,237	△1,237
株主資本合計	32,271,663	31,869,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,719	27,394
退職給付に係る調整累計額	△160,863	△149,142
その他の包括利益累計額合計	△133,144	△121,747
純資産合計	32,138,518	31,747,884
負債純資産合計	53,528,020	52,360,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	44,657,070	38,931,435
売上原価	31,186,148	27,223,072
売上総利益	13,470,921	11,708,363
延払販売未実現利益戻入	17,537	9,057
差引売上総利益	13,488,459	11,717,421
販売費及び一般管理費	9,264,955	10,171,090
営業利益	4,223,504	1,546,330
営業外収益		
受取利息	5,620	11,034
受取配当金	6,453	8,963
不動産賃貸料	52,542	59,854
その他	80,190	73,014
営業外収益合計	144,806	152,867
営業外費用		
支払利息	4,842	4,588
不動産賃貸費用	36,510	37,470
その他	11,740	884
営業外費用合計	53,093	42,944
経常利益	4,315,217	1,656,253
特別利益		
固定資産売却益	—	1,274
特別利益合計	—	1,274
特別損失		
固定資産除却損	3,292	10,188
減損損失	8,143	10,873
投資有価証券評価損	—	10,000
貸倒引当金繰入額	—	238,500
特別損失合計	11,436	269,561
税金等調整前四半期純利益	4,303,781	1,387,966
法人税、住民税及び事業税	1,302,602	183,058
法人税等調整額	253,451	572,109
法人税等合計	1,556,053	755,168
四半期純利益	2,747,727	632,798
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,747,727	632,798

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,747,727	632,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,042	△324
退職給付に係る調整額	27,425	11,721
その他の包括利益合計	39,468	11,396
四半期包括利益	2,787,196	644,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,787,196	644,194

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,306,876	13,350,194	44,657,070	—	44,657,070
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,306,876	13,350,194	44,657,070	—	44,657,070
セグメント利益	5,341,204	147,622	5,488,827	△1,265,322	4,223,504

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,265,322千円には、セグメント間取引消去309千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,265,632千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,882,337	11,049,098	38,931,435	—	38,931,435
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	26,910	26,910	△26,910	—
計	27,882,337	11,076,008	38,958,345	△26,910	38,931,435
セグメント利益	3,484,814	△649,762	2,835,052	△1,288,722	1,546,330

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,288,722千円には、セグメント間取引消去△17,597千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,271,124千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。